

人はどこに住んでも、どこに出かけても、天気という自然から逃れることは出来ませんが、雲の仕組みを知り、天気を観察する知恵を身につけ、予報の内容や仕組みを理解すれば、逆に気象に親しみが湧き、備えも可能となるはずです。気象庁在職 40 年の経験をもとに、お茶の間のテレビや新聞の気象情報を一段掘り下げた授業をしたいと思います。また、海洋 (波)、地震・火山、津波にも触れます。さらに講座の仲間と気象庁やつくば研究学園都市の見学のほか、霞ヶ浦でのヨット体験など楽しく学びたいと思います。

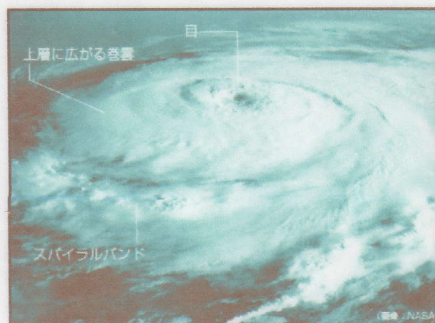
数年前、茨城新聞と朝日新聞に気象の随筆を寄稿していましたが、現在は鹿嶋市報「かしま」の天気コラムを受け持っています。なお、昨年9月に「天気予報入門」(ブルーバックス:講談社)を出版しました。



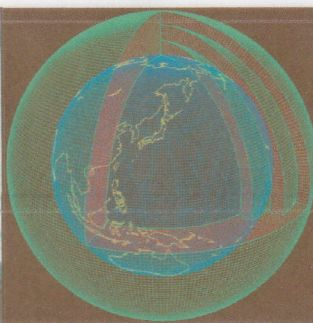
高積雲

積乱雲

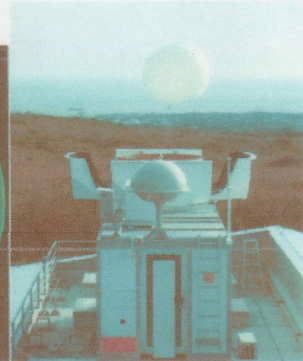
巻積雲 (うろこ雲)



スペースシャトルから見た台風

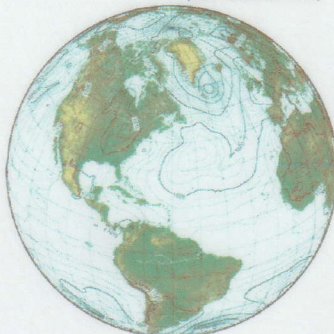


全球モデルの格子網



ラジオゾンデの放球

GSM-TL959L60 2009.05.28.12UTC FT=000
(Valid Time: 05.28.12UTC)



GSM-TL959L60 2009.05.28.12UTC FT=000
(Valid Time: 05.28.12UTC)



GSM-TL959L60 2009.05.28.12UTC FT=000
(Valid Time: 05.28.12UTC)



スーパーコンピュータで計算した全球数値予報モデルの予測図